

Golf Course Management & Maintenance Magazine

平成14年5月1日発行
(毎月1回1日) 第35巻第5号
平成10年10月7日
第三種郵便物認可

ゴルフ場セミナー

5月号

省エネを考える

ヒートポンプ、エコアイス…etc

根強いニーズに応える

魅力あるキャディ付きプレーへの工夫

スムーズな運営を

増え続けるセルフプレーへの工夫



ゴルフダイジェスト社

水量コントロールで 水道代を削減する

節水器具用アダプタ

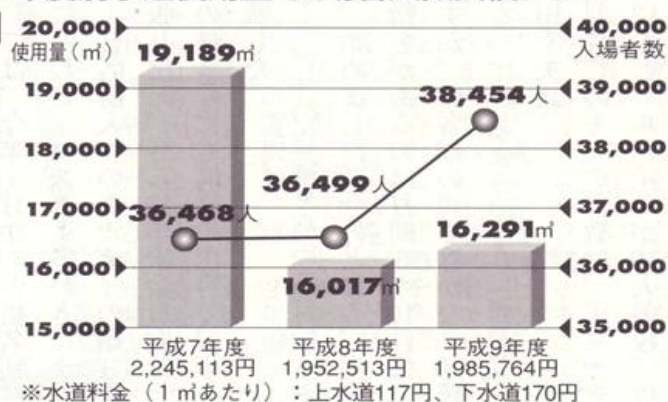
省エネを考えると、すぐに思い浮かぶのは、電気料金や燃料代の見直しだが、もうひとつ忘れてならないのが水道使用量の削減による、水道料金の節約だ。使用する水の量が膨大になるゴルフ場の場合、その多くは地下水を汲み上げて利用しているが、住宅地近郊のゴルフ場などでは一般家庭同様、上下水道を利用している場合があり、その費用は馬鹿にならない。また、地下水を利用している場合、その浄化槽処理する

力がなければ余分な出費が必要となることがあるという。南長野ゴルフ倶楽部（18H、長野県）では、一度使用した水を浄化槽で処理してから排出していたところ、その処理量が増えたことをきっかけに節水用の水道バルブ（エコバルブ）を採用。年間約100万円の水道料金削減を達成したという。「水の使用量が増え、それを処理する浄化槽の処理能力を超えたことをきっかけに、浄化槽の交換を考えたのですが、そのためには最低でも1

000万円以上の費用がかかるということでした。それならば現状の浄化槽で処理出来る範囲内に水の絶対量を抑えようということになったんです。そのためには、使う水の量を減らすのが近道ということで、節水のバルブを取り付けることにしました。具体的には、トイレや浴室、レストランをはじめとする水道の蛇口に節水用のバルブを取り付けるもので、年間約100万円程度の水道料金削減につながりました。そして業者に支払うシステム料金が月に3〜4万円で、これは5年間支払うと無料になる契約ですから、その後はまるまる節水効果が得られることになりました」（赤澤正巳副支配人）

「エコバルブ」を開発した（株）ジーワイテック黒部事業所長の木原誠営業部長に話を聞いてみると、「エコバルブは、弊社が独自に開発した節水器具用アダプタです。水栓の管路と蛇口との間に取り付けていただきますと、従来からの使用感と効果を損なうことなく節水を実現することが出来ます。すでに全国20カ所のゴルフ場に導入していただき、それぞれが期待通りの効果を上げています。ただし、ゴルフ場の状況に

年度別水道使用量・入場者人数実績グラフ



Aゴルフ場（18H）の例

平成7年度実績を100とした場合、節水システム導入（平成8年度）の結果は節水率17%。その後、浴室シャワーの節水器具を取り付けたところ、平成9年度の節水率が21%に向上している

よっては節水できる量に違いが出てきますので、過去の水道使用状況・料金調査・給水設備状況等の調査を十分実施した上で、経済効果を試算した節水計画をご提案しています」となれば、数こそ蛇口の数だけ多くはなるものの、小さなバルブを取り付けるだけで大規模な設備を設置する必要なし。投資費用が少なく大きな効果を得られるなら、一度検討してみるだけの価値はありそうである。